介護生産性リーダー養成研修



高齢化の進展に伴い、介護現場では業務効率化や職員の負担軽減、サービスの質の向上がこれまで以上に求められています。介護テクノロジーの活用には、現場の中心となるリーダー人材の育成が不可欠です。

本研修では、導入事例の紹介や介護テクノロジー等を用いた実践的な学習を通じ、知識とスキルを習得していただきます。

◆実施形式と定員:①会場での受講(各コース定員30名) ②オンライン受講(定員上限なし)

◆日程とカリキュラム

日程とカリキュラム		
	共通テーマ:介護現場における「生産性の向上」とは	
		3:30~16:30(3時間)
	<カリキュラム>	
		容
日日	1.生産性向上とは何か	2. 生産性向上プロジェクトの進め方
	介護現場に生産性向上が必要な背景	介護生産性の向上とは ~業務改善の7つの視点~
	手段としての介護テクノロジーの有効性	生産性向上プロジェクトの基本的な工程
	介護テクノロジー利用の重点分野 テクノロジー機器の特徴と導入検討の注意点	進め方のポイント 3. 事例から学ぶ生産性の向上
	「デップロシー機器の特徴と等人検討の注意点 ※ 日目はロボット活用コース・データ活用コー	
	ロボット活用コース(定員30名)	データ活用コース(定員30名)
2 日目	I . ノーリフティング	Ⅰ.見守りセンサー
	実施日: 月 日(火)	実施日: 11月25日(火)
	時 間: 13:30~16:30(3時間)	時 間: 13:30~16:30(3時間)
	<カリキュラム>	<カリキュラム>
	内 容	内 容
	・ノーリフティングと生産性向上	・見守り支援機器導入のポイント
	ノーリフティングの目的	導入目的の明確化と目標設定
	介護現場における腰痛の現状	解決したい課題とセンサーの種類
	生産性向上推進に関連して	将来的なビジョン
	ノーリフティングの普及・定着・維持のために	導入初期の注意点
	・実技	・見守り支援機器紹介
	機器を使用したノーリフティングの実践	
	Ⅱ.移乗支援機器	Ⅱ.介護記録システム
3 日 国	実施日: 12月2日(火)	実施日: 12月9日(火)
	時 間: 13:30~16:30(3時間)	時 間: 3:30~ 6:30(3時間)
	<カリキュラム>	<カリキュラム>
	内 容	内 容
	・移動/移乗支援機器導入のポイント	・介護業務支援機器(システム)導入のポイント
	導入目的の明確化と目標設定	導入目的の明確化と目標設定
	自立支援とのバランス	メリットとデメリット
	メリットとデメリット	法人全体含めた既存のシステム環境の確認
	利用者軸で考えることの重要性	ビジョンとシステム化の範囲
		その他の有用なシステム
	·移動/移乗支援機器紹介	·介護業務支援機器紹介

注意事項

- ・本研修は、会場での受講とオンライン(Zoom)での受講のいずれかをお選びいただけます。
- ・会場での受講は、I事業所につき I名様までとさせていただきます(先着順)。定員に達した場合は、オンラインでの受講をご案内いたします。
- ・各コースともに3日間、全日程を通しての受講が必須となっております。1日のみや、部分的な受講はできません。
- ・お申し込み後の受講方法の変更はお受けできかねますので、あらかじめご了承ください。

申込方法

ながさき介護現場サポートセンターホームページ、もしくは右のQRコードよりお申込み下さい。

- ■ホームページからお申込みの際の手順
 - ()トップページ「研修・セミナー」のボタンをクリック
 - ②研修・セミナー画面の「研修のお申込みはこちら」のボタンをクリック
 - ③必要事項を入力する
 - ④送信ボタンをクリック

申込期限 9月30日(火)

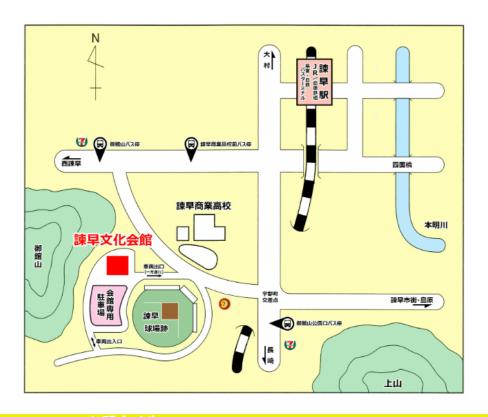


会場地図

会場:諫早文化会館 2階 展示室②、③ (各コース1日目のみ、展示室②、③、④)

〒854-0061 長崎県諫早市宇都町9-2

- ■JR諫早駅より徒歩約15分
- ■駐車場あり



お問合せ先

事務局:ながさき介護現場サポートセンター

〒850-0035

長崎県長崎市元船町9-18 長崎BizPORT 2F リージャス長崎BizPORTセンター内 お問合せはホームページよりお願いいたします。

https://aes-medicalwelfare.com/n-kaigo/

